

2025 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会 Q&A

日時：2025 年 8 月 6 日（水）10:00～11:15

No	項目	Q	A
1	全体	説明会資料 P11 の営業利益分析 (2/12 通期計画 vs 7/31 通期計画)において、業績改善の売上変動による営業利益増加額が 18 億円と少ないのはなぜか？	主な要因として CMP で浜松工場が稼働開始したことによる固定費の増加や精密減速機の工場稼働率が低いことが要因となっている。
2	全社	2025 年下期の売上は上期に比べて増加するにも関わらず、利益率が下がる要因は？	TRS では下期に予定していた MRO 案件が上期に前倒しになったこと、また経費の計上時期ずれにより本社費が増加することが主な要因。
3	全社	説明会資料 P12 にある投資の効率化とはどのようなことを指すのか。今後もフリーキャッシュフローの増加を期待してもよいのか。	投資の効率化とは、想定のコストよりも低く実行できることや、工夫したことによって同じ効果を得られることを言う。 Project 10 も推進していることから、より効率の良い投資を今後も選択していく。
4	全社	2025 年計画の上方修正をうけて、中期経営計画の見方に変化が生じているか？	中期経営計画の前提としている市場環境の見方は変えていない。 2027 年 ROIC 10%の目標は変更なしだが、今回の会社分割を経て、売上高や営業利益の参考値については変更の可能性がある。
5	事業ポートフォリオ	事業ポートフォリオマネジメントで管理しているビジネスユニット数はこの 2 年で変化しているか。	2022 年以降、TS プレシジョンの売却、中国の油圧機器販売会社の統合によりユニット数は減少した一方、Deepsea の買収による増加がある。
6	事業ポートフォリオ	今後の進捗について定量的な目標はあるか？	中期経営計画でも示した通り、EVA 棄損ビジネスユニット数を 2023 年比 1/5 以下を目指すことに変化ない。 ビジネスユニット別の EVA 一覧の開示を行った結果、我々が考えるポートフォリオマネジメントについて誤解を与えたと感じているため従来の開示方法は辞め、当社の考えをよりよくお伝えできる開示方法を今後検討したい。

No	項目	Q	A
7	事業ポートフォリオ	今後の事業ポートフォリオマネジメントについて方針を教えてください。	主要7事業（油圧機器事業を除く）では、極めて大きな事業環境の悪化や競争環境の変化は無いと認識しているため、中期経営計画に基づいた戦略の実行に注力する。一方、再構築の位置にある主要事業以外の小規模の事業は、ポートフォリオマネジメントを通じ継続的にモニタリングしていく。
8	会社分割	今回の件をうけ、キャッシュアロケーションに変化はあるか？	今回の会社分割によって、中期経営計画期間中のキャッシュインとキャッシュアウトは変化ない。
9	CMP	2Q と下期の利益率が同等になっている要因を教えてください	下期に予定していた価格転嫁が一部2Q から発現したこと、油圧機器で下期収益が悪化すること、経費の遅れもあり、下期で同等の利益水準となる見込み。
10	精密減速機	1. 中国での EV 関連投資は下期も続くのか？ 2. 米国の関税交渉決着による影響がでてくるのはいつ頃か？	1. 下期も継続する見通し。 2. 下期の需要は今回の関税影響を織り込んで計画している。各国との関税交渉が決着し、投資マインドが上がってくるのは来期以降と想定。
11	精密減速機	QoQ の受注が増えている背景はなぜか？	産業用ロボットの在庫が適正水準になってきていることや、中国の EV 関連需要が増加したことによるもの。 2022 年以降、完成ロボットの市場在庫過多により精密減速機の需要が大きく減少したことで生産需要の回復が遅れた。
12	精密減速機	下期の稼働はどのくらいを想定しているのか？	受注から生産までのリードタイムも短いので、下期での需要増加により、稼働率は上昇する見込み。主に日本工場での稼働率の増加を想定している。
13	油圧機器	中国の競争環境は厳しいのか？	中国ローカルの油圧機器メーカーは小型サイズのショベル向けに入ってきており、価格競争は厳しくなっており、競合のシェアも拡大している。

No	項目	Q	A
14	TRS	事業毎の利益率の順番は？	事業別の利益率の順位についても開示していない。
15	鉄道車両用機器	中国地下鉄は不動産市況悪化の影響を受けているか	地下鉄向け新車案件も動いてきている。不動産市況の悪化による急激な変化は見られない。地下鉄でもMRO 需要が継続している。
16	舶用機器	年率 15%の成長が可能か？	造船需要は好調な市況と、造船所の再稼働により活況が継続している。2021 年から 2027 年の平均売上高成長率は 15%を見込み、今後も高い成長が予想される。

以上